

東日本大震災復興プロジェクトに参加しました！

セブン&アイ



CSR アクション

2013/10/4

2011年からセブン-イレブン記念財団が主催し、現地のセブン-イレブン関係者をはじめセブン&アイHLDGS.グループ従業員が参加する東日本大震災復興プロジェクトを実施しています。

9月6日（金）～8日（日）の第四回目のプロジェクトには、セブン-イレブン加盟店オーナーをはじめセブン&アイHLDGS.グループ従業員計56人が参加しました。

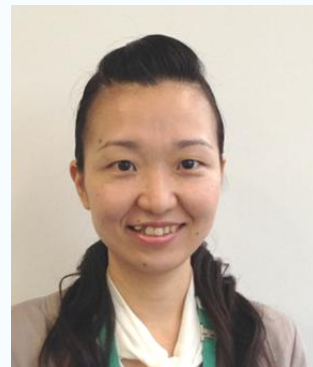
私は、2回目の参加でしたが、前回と比較して唐桑の港は整備が進んでいて、牡蠣を出荷できる設備も整い始めていました。しかし、漁師の方のお話を聞くと、まだまだ牡蠣の育ちが十分でなく、出荷は先の話との事。人手も足りないそうです。

「品質のよい唐桑の牡蠣を、もう1度皆さんに届けたい、その為に力を貸して欲しい」という気持ちに毎回心打たれます。ゼロどころかマイナスからのスタートにも関わらず前向きに取り組んでいる姿に、少しでも多くのことをして帰りたいという気持ちになりました。

2日目の鳴子郷の植樹活動は、あいにくの雨で中止になりましたが、代わりに森の貴重なお話を聞くことができ、今、日本が直面しているエネルギー・雇用問題を森が救うのかもしれないと逆に勇気づけられました。

森を中心にエネルギー・資源・人・お金が効率よく循環することを目指す社会のお話は、セブン&アイとして取り組むべきことの参考にもなりました。

現地の皆様からは継続して活動していることを評価して頂きました。今後も継続して参加していくと同時に、まだ参加していない方にも声を掛け、この輪を広げていきたいと思えます。



イトーヨーカ堂
企画室
合田 悠理子

9月7日（土）牡蠣の養殖業復興支援

1日目は、気仙沼市唐桑町の「唐桑創生村」で、牡蠣の養殖業復興支援を行いました。



【作業1 牡蠣養殖の仕掛けと仕掛け用のロープを作成】



ロープを図って切断し、束を作り、ピンを均等にしています。

【作業2 種牡蠣の挟み込み】



ロープに均等に牡蠣を挟み込んでいきます。

初めての作業は大変で、手際は悪かったのですが、何とか人海戦術で漁師さん1人の1週間分の仕事に相当する作業をやり遂げることができました！





完成したものを養殖いかだに運び、海に吊り下げます。



昨年お手伝いした牡蠣を見せていただきました。

大きく育った姿に、歓声があがりました！



地元のおいしい牡蠣を贅沢にいただきました！



9月8日(日) 森林セミナー

2日目の「宮城セブンの森」※での植樹作業は生憎の雨のために、中止になってしまいました。代わり、実際にこの森林の整備に携わっているNPO法人 日本の森バイオマスネットワークの方による森林セミナーを開催しました。

※豊かな海をつくるために、NPO法人日本の森バイオマスネットワークのご協力を得て、大崎市鳴子温泉玉木で2012年~2016年の5年間で5haの「宮城セブンの森」づくりを行っています。



- ・森はどんな役割を果たしているか
- ・なぜ森を守ることが必要なのか
- ・どんな森が求められているのか
- ・森を守るために何が必要なのか

などをわかりやすくご説明いただき、参加者は熱心に聞いていました。

講義のあとには、昨年植樹を行った場所を視察しながら、さらに、具体的なお話を伺いました。

関連情報

取り組みは、セブン-イレブン記念財団のウェブサイトでも紹介しています。

↓

http://www.7midori.org/katsudo/saigaifukugen/tohoku_fukkou/index.html